

朝日新聞 2010(平成22)年1月27日(水) 佐賀版 ぶらりミュージアム

月27日 水曜日 11版 第2佐賀 佐賀30

ぶらり ミュージアム

県立美術館

降り注ぐ日差し、その光のきらめきの中、読書しながら庭を散歩する若い女性。耳をすませば、絵から静かな心地よい音楽が聞こえてくるかのようだ。本作「日だまり」は、美しい光と優しい情緒にあふれた逸品である。

フランスの画家ラファエル・コラン（1850～1916）は、明るい外光を採り入れた女性像を優美な筆致で描き、サロン（国営展覧会）にて活躍した。しかし現在、コランの名は本国フランスよりも、日本でよりひろく知られている。その理

日だまり

日本洋画界に影響与えた逸品

由は、コランが明治時代にフランスに留学した日本人洋画家たちの、よき「師匠」であったためである。

明治10年代以降、黒田清輝、久米桂一郎、岡田三郎助といった画家たちがコランに弟子入りするが、彼らのコラン譲りの明るく、みずみずしい色彩感覚は、日本の洋画界に新鮮な感動を与え、変革をもたらす原動力となった。

本作は、2月14日まで県立美術館で開催中の佐賀城本丸歴史館開館5周年記念特別展「近代との遭遇—世界を見る・日本を創る—」に出品中である。

（県立美術館 学芸員 野中耕介）

佐賀市城内1の15の23。電話0952・24・3947。バス停「博物館前」下車、徒歩1分。開館は午前9時半～午後6時。月曜（祝日なら翌日）休館。2月1日は開館。



1896年／油彩・カンバス／60・6×
81・5センチ／県立美術館蔵